

\*\*\*\*\*

令和 4 年 第 3 回 臨時会

# 上富良野町議会会議録

\*\*\*\*\*

令和 4 年 5 月 2 3 日

上富良野町議会

# 目 次

第 1 号（5 月 2 3 日）

○議 事 日 程	1
○出 席 議 員	1
○欠 席 議 員	1
○遅 参 議 員	1
○早 退 議 員	1
○地方自治法第 1 2 1 条による説明員の職氏名	1
○議会事務局出席職員	1
○開会宣告・開議宣告	2
○議会運営等諸般の報告	2
○日程第 1 会議録署名議員の指名について	2
○日程第 2 会期の決定について	2
○日程第 3 議案第 1 号 専決処分の承認を求めることについて (令和 3 年度上富良野町一般会計補正予算(第 1 7 号))	2
○日程第 4 議案第 2 号 専決処分の承認を求めることについて (令和 3 年度上富良野町一般会計補正予算(第 1 8 号))	4
○日程第 5 議案第 3 号 令和 4 年度上富良野町一般会計補正予算(第 1 号)	5
○日程第 6 議案第 4 号 財産の取得について(上富良野町スクールバス購入)	1 2
○閉 会 宣 告	1 3

### 令和4年第3回上富良野町議会臨時会付議事件一覧表

議案 番号	件 名	議決月日	結 果
1	専決処分の承認を求めることについて (令和3年度上富良野町一般会計補正予算(第17号))	5月23日	承認可決
2	専決処分の承認を求めることについて (令和3年度上富良野町一般会計補正予算(第18号))	5月23日	承認可決
3	令和4年度上富良野町一般会計補正予算(第1号)	5月23日	原案可決
4	財産の取得について(上富良野町スクールバス購入)	5月23日	原案可決

## ○議事日程

- 第 1 会議録署名議員の指名について
- 第 2 会期の決定について 5月23日 1日間
- 第 3 議案第1号 専決処分の承認を求めることについて  
(令和3年度上富良野町一般会計補正予算(第17号))
- 第 4 議案第2号 専決処分の承認を求めることについて  
(令和3年度上富良野町一般会計補正予算(第18号))
- 第 5 議案第3号 令和4年度上富良野町一般会計補正予算(第1号)
- 第 6 議案第4号 財産の取得について(上富良野町スクールバス購入)
- 

## ○出席議員(14名)

- |     |        |     |       |
|-----|--------|-----|-------|
| 2番  | 北條隆男君  | 3番  | 高松克年君 |
| 4番  | 中瀬実君   | 5番  | 金子益三君 |
| 6番  | 中澤良隆君  | 7番  | 米沢義英君 |
| 8番  | 荒生博一君  | 9番  | 佐藤大輔君 |
| 10番 | 今村辰義君  | 11番 | 小林啓太君 |
| 12番 | 小田島久尚君 | 13番 | 岡本康裕君 |
| 14番 | 村上和子君  |     |       |
- 

○欠席議員(1名) 1番 元井晴奈君

---

○遅参議員(0名)

---

○早退議員(0名)

---

## ○地方自治法第121条による説明員の職氏名

町長	斉藤繁君	副町長	佐藤雅喜君
教育長	鈴木真弓君	総務課長	北川徳幸君
企画商工観光課長	狩野寿志君	保健福祉課長	深山悟君
農業振興課長兼農業委員会事務局長	大谷隆樹君	建設水道課長	菊地敏君
教育振興課長	谷口裕二君		

---

## ○議会事務局出席職員

局長	星野耕司君	次長	飯村明史君
主事	真鍋莉奈君		

午前10時00分 開会  
(出席議員 13名)

### ◎開会宣言・開議宣言

○議長(村上和子君) 御出席まことに御苦勞に存じます。ただいまの出席議員は13名でございます。

これより令和4年第3回上富良野町議会臨時会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

### ◎議会運営等諸般の報告

○議長(村上和子君) 日程に入るに先立ち、議会運営等諸般の報告をいたさせます。

事務局長。

○事務局長(星野耕司君) 御報告申し上げます。

本臨時会は、5月20日に告示され、同日議案等の配付を行い、その内容につきましては、お手元に配付の議事日程のとおりであります。

本臨時会に提出の案件は、町長から提出の議案4件であります。

本臨時会の説明員につきましては、町長以下、関係者の出席を求め、別紙配付のとおり出席しております。

欠席の議員の報告をいたします。1番元井議員から一身上の都合により欠席届が提出されておりますので、ご報告いたします。

以上であります。

○議長(村上和子君) 以上をもって議会運営等諸般の報告を終わります。

### ◎日程第1 会議録署名議員の指名について

○議長(村上和子君) 日程第1 会議録署名議員の指名についてを行います。

会議録署名議員は、会議規則第127条の規定により、議長において、

3番 高松 克年 君

4番 中瀬 実君

を指名いたします。

### ◎日程第2 会期の決定について

○議長(村上和子君) 日程第2 会期の決定についてを

議題といたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は、本日1日間といたしたいと思います。これに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(村上和子君) 御異議なしと認めます。

よって、会期は本日1日間と決定いたしました。

### ◎日程第3 議案第1号

○議長(村上和子君) 日程第3 議案第1号専決処分の承認を求めることについて(令和3年度上富良野町一般会計補正予算(第17号))を議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

総務課長。

○総務課長(北川徳幸君) ただいま上程いただきました議案第1号専決処分の承認を求めることについて(令和3年度上富良野町一般会計補正予算(第17号))につきまして、専決処分した要旨について御説明申し上げます。

本件につきましては、除排雪経費について、これまで令和3年第4回定例会及び1月26日開会の第1回臨時会、また、2月24日付けの専決処分にて増額補正を行い、それぞれ対応してきたところでありますが、3月に入りましても低気圧等による強風に伴う郊外除雪を3日間実施するなど、想定以上の除雪経費がかかり、3月末日までの除雪経費につきまして予算不足が見込まれることから、その追加補正について令和4年3月17日付で専決処分を行ったところです。

なお財源につきましては、予備費を充当し、財源調整を図ったところであります。

そのようなことから、地方自治法の規定により予算の内容を議会へ報告するとともに、承認を賜りたく、本議案を上程するものであります。

それでは以下、議案の説明につきましては、議決項目の部分についてのみ説明をし、予算の事項別明細書につきましては省略をさせていただきますので、御了承願います。

議案第1号を御覧ください。

議案第1号専決処分の承認を求めることについて。

地方自治法第179条第1項の規定により、下記事項について別紙のとおり専決処分したので、同条第3項の規定により報告し、議会の承認を求め。

記。

処分事項、令和3年度上富良野町一般会計補正予算(第17号)。

裏面を御覧ください。

専決処分書。

令和3年度上富良野町一般会計補正予算(第17号)を地方自治法第179条第1項の規定により、別紙のとおり専決処分する。

令和4年3月17日。

上富良野町長 斉藤繁。

次の頁を御覧いただきたいと思います。

令和3年度上富良野町一般会計補正予算(第17号)。

令和3年度上富良野町の一般会計の補正予算(第17号)は次に定めるところによる。

(歳入歳出予算の補正)。

第1条、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

1頁をお開きください。

第1表につきましては、款ごとの名称と、補正額のみ申し上げます。

第1表、歳入歳出予算補正。

1、歳出。

8款土木費1、280万円。

12款予備費1、280万円の減。

歳出合計、0円。

以上で、議案第1号専決処分の承認を求めることについて(令和3年度上富良野町一般会計補正予算(第17号))の説明といたします。

御審議いただきまして、御承認くださいますようお願い申し上げます。

**○議長(村上和子君)** これをもって提案理由の説明を終わります。

これより議案第1号について質疑に入ります。

7番米沢義英君。

**○7番(米沢義英君)** お伺いいたします。

除排雪の予算というのは、大変現場の方で苦労されているというふうに思っております。

そこでお伺いしたいのですが、これ専決処分という形で数回にわたってこの除排雪の予算が足りないという形で補正されております。基本は緊急時の場合、あるいは議会が開催することが間に合わない場合というような等の規定等があるかというふうに思います。

この3月16日まで最終定例議会があったかというふうに思いますが、3月17日に予算専決という形になっておりますが、本来でしたら議会に間に合うような対策も取れたのではないかなというふうに素朴な疑問が。お伺いいたしますが、この点、会期内でできなかったのかというところをお伺いいたします。

もう一つはあわせてこの間のこの議員協議会等のやり

とりの中でもいわゆる必要最小限の予算を組んでから、非常時になかなかの緊急時に間に合わないんだというような説明がされております。そうしますとある一定程度当初予算に、必要な金額を盛り込む必要があるのではないかなというふうに思うんですが、再三予算が獲得できないからという形の中で、再三不足分は専決ということになれば、議会としてのやっぱり役割だとかチェックが、やっぱりできなくなる可能性があるというふうに思いますので、あらかじめ見込んだ当初予算を増やすということも当然必要な内容ではないかというふうに思いますがこの点について、どのような考えをお持ちなのかお伺いいたします。

**○議長(村上和子君)** 建設水道課長。

**○建設水道課長(菊地敏君)** 7番米沢議員の御質問にお答えいたします。

確かに議員おっしゃられるように議会議決、補正対応、それを念頭に置きながら、年度末を考えておりましたが予期せぬ強風等により、除雪が発生し、3月末までの押し込んだところの排雪だとか、2間道路だとかの作業量を見通した中で、何とか3月16日起案の17日専決となったところでございます。

これからの対応におきましても、できるだけ会期中の追加上程なりも念頭に置きながら対応していきたいと考えているところでございます。

あと、今後、予算の計上方法なんですけど、今までにおきましては、最低限の1億3,450万円という額をベースに動いておりました。ただ今年も次年度の予算要求におきまして、今ある燃料の物価等、いろいろ機器の値上げもあると感じております。R5の予算要求におきましては、今まで以上より中身を熟知した中で予算要求をしていきたいと考えておりますので御理解をお願いしたいと思います。

**○議長(村上和子君)** 7番米沢義英君。

**○7番(米沢義英君)** 同僚の議員も述べましたが、この管内の今季の雪の量は、前年度から見ても多くはなかったというような下回るというような状況だという説明がされております。

そうしますと、やはり当初予算の組み方、そういったところにも、やっぱり問題がなかったのかという素朴な疑問が受け止めとしてこちらの方にありますが、こういった意味で町長、当初予算の確かに日常の除排雪というのは町民の日常の生活をやっぱり守るという点でも非常に大事な予算になっておりますので、やっぱり当初予算で一定程度確保するというのも当然視野に入れた、予算編成にしなければならない部分もあるのではないかなというふうに今回のやりとりでちょっと考え見えてきました

ので、その点の考えはどのようにお考えでしょうか。

**○議長（村上和子君）** 副町長、答弁。

**○副町長（佐藤雅喜君）** 7番米沢議員の御質問にお答えいたします。

当初予算に、確かに一定程度余裕といますか、幅を持たせた予算編成をしていくということはやっぱり理想なのかというふうには思います。それから特に除排雪につきましては、現場も我々もそんなにその改正案なんかも読めないということもあります。

それから偶然ことし議会でも説明しましたけれども、ちょうど道道の工事と重なって排雪のダンプの通行が極めて滞ったことによって排出作業が遅れて町民の皆様にご迷惑をおかけしてしまったとか、そういうような事例もございます。そういったことから、例年限られた当初予算、何とかやりくりする中で、建設課長も申し上げましたけれども、例えば、燃料自体が上がっていくこととか、それから人件費は当然上がります。それから重機などの機械類の経費も読めるものについては、読んで予算要求をしてもらって当初予算を組んでという形とっておりますけれども、いかんせん潤沢にと言いますかその必要以上に想定されてるギリギリっていうのも変ですけれども必要最低限必要にして十分というラインを、都度見極めながら、カツカツに予算組んでというのが実態でございまして、そういった中で、しっかりと最低限のものをキープした上で、都度今までも、補正等、議員の皆さんに御相談を申し上げてきたところ です。

議員御指摘のとおり、臨時会に補正予算をかけるのではなくて専決をするということにつきましては、大変議会での審査というものに支障があるんじゃないかという御指摘でございますので、そういった部分を極力減らしていくということを心がけることが大事なと思います。

それから基本的には、必要最低限のところにプラスアルファどこまでやれるのかそういったものを当初予算全体を編成していく中で、留意してまいりたいということで御理解を賜りたいと思います。

**○議長（村上和子君）** ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

なければ質疑を終了いたします。

これから議案第1号の討論を行います。討論はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論なしと認めます。

これから議案第1号を採決いたします。

本件は、原案のとおり決定することに賛成の方は、御起立願います。

（賛成者起立）

**○議長（村上和子君）** 起立多数であります。

よって、議案第1号専決処分の承認を求めることについて（令和3年度上富良野町一般会計補正予算（第17号））は、原案のとおり可決されました。

#### ◎日程第4 議案第2号

**○議長（村上和子君）** 日程第4 議案第2号専決処分の承認を求めることについて（令和3年度上富良野町一般会計補正予算（第18号））を議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

総務課長。

**○総務課長（北川徳幸君）** ただいま上程いただきました議案第2号専決処分の承認を求めることについて（令和3年度上富良野町一般会計補正予算（第18号））につきまして、専決処分した要旨について御説明申し上げます。

本件につきましては、ふるさと応援寄附モニター事業について、令和3年度寄附採納分にかかるモニター商品代金及び商品配送料等の事業経費につきまして、不足が生じる見込みからその追加補正について令和4年3月31日付で専決処分を行ったところでございます。

なお、財源につきましては、寄附金をその経費に充てまして、財源調整を図ったところであります。

そのようなことから、地方自治法の規定により予算の内容を議会へ報告するとともに、承認を賜りたく、本議案を上程するものであります。

それでは、議案の説明につきまして、議決項目の部分についてのみ説明をし、予算の事項別明細書につきましては省略させていただきますので、御了承願います。

議案第2号を御覧いただきたいと思います。

議案第2号専決処分の承認を求めることについて。

地方自治法第179条第1項の規定により、下記事項について別紙のとおり専決処分したので、同条第3項の規定により報告し、議会の承認を求める。

記。

処分事項、令和3年度上富良野町一般会計補正予算（第18号）。

裏面を御覧ください。

専決処分書。

令和3年度上富良野町一般会計補正予算（第18号）を地方自治法第179条第1項の規定により、別紙のとおり専決処分する。

令和4年3月31日。

上富良野町長 斉藤繁。

次の頁を御覧ください。

令和3年度上富良野町一般会計補正予算（第18号）。

令和3年度上富良野町の一般会計の補正予算(第18号)は次に定めるところによる。

(歳入歳出予算の補正)。

第1条、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

1頁を御覧ください。

第1表につきましては、款ごとの名称と補正額のみ申し上げます。

第1表、歳入歳出予算補正。

1、歳入。

18款寄附金330万2,000円。

歳入合計、330万2,000円。

2、歳出。

2款総務費330万2,000円。

歳出合計、330万2,000円。

以上で、議案第2号専決処分の承認を求めることについて(令和3年度上富良野町一般会計補正予算(第18号))の説明といたします。

御審議いただき、御承認くださいますようお願い申し上げます。

**○議長(村上和子君)** これをもって提案理由の説明を終わります。

これより議案第2号について質疑に入ります。

(「なし」と呼ぶ者あり)

なければ質疑を終了いたします。

これから議案第2号の討論を行います。討論はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

討論なしと認めます。

これから議案第2号を採決いたします。

本件は、原案のとおり決定することに賛成の方は、御起立願います。

(賛成者起立)

**○議長(村上和子君)** 起立多数であります。

よって、議案第2号専決処分の承認を求めることについて(令和3年度上富良野町一般会計補正予算(第18号))は、原案のとおり可決されました。

## ◎日程第5 議案第3号

**○議長(村上和子君)** 日程第5 議案第3号令和4年度上富良野町一般会計補正予算(第1号)を議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

総務課長。

**○総務課長(北川徳幸君)** ただいま上程いただきました、議案第3号令和4年度上富良野町一般会計補正予算(第1号)につきまして、提案の要旨を御説明申し上げます。

1点目は、新型コロナウイルス関連緊急対策事業として、令和3年度において交付決定を受けた新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金のうち、国において本省繰り越しとした臨時交付金を活用し、現状のコロナ禍において感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援に資するため、町の独自事業としてかみふらのグルメクーポン事業、中小企業等新展開支援事業、宿泊誘客促進事業の3事業を実施するために要する費用について、所要額の補正をお願いするものであります。

2点目は、農業関連事業として、国の令和3年度の補正予算繰越分を活用し、畑作産地におけるてん菜から需要の高い作物等への転換支援を目的とした持続的畑作生産体系確立緊急対策事業及びポストコロナを見据えた中で、生産性向上に資するスマート農業の導入の取り組みを支援するスマート農業導入支援事業を実施するために要する費用につきまして、所要額の補正をお願いするものであります。

3点目は、保健福祉総合センター及び上富良野西小学校のボイラー更新について、それぞれ防衛省の交付金等を活用して実施することとなっておりますが、まず、保健福祉総合センターにつきましては、実施設計を行った結果、ボイラー本体及び配管等の単価上昇が見込まれること、また、上富良野西小学校につきましては、世界的な半導体不足等の影響により、ボイラー本体に使用する基盤部品の供給遅延が見込まれ、工法・工程の変更が生じるため、増額補正をお願いするものであります。

以上、申し上げた内容を主な要素といたしまして、不足する財源については予備費を充当して、補正予算を調製したところであります。

それでは以下、議案の説明につきましては、議決項目の部分についてのみ説明をし、予算の事項別明細書につきましては省略させていただきますので、御了承願います。

議案第3号を御覧いただきたいと思います。

議案第3号令和4年度上富良野町一般会計補正予算(第1号)。

令和4年度上富良野町の一般会計の補正予算(第1号)は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算の補正)。

第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ7,966万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ78億266万円とする。

第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区

分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

1頁をお開きください。

第1表につきましては、款ごとの名称と補正額のみ申し上げます。

第1表、歳入歳出予算補正。

1、歳入。

15款国庫支出金7,000万円。

16款道支出金966万円。

歳入合計、7,966万円。

2、歳出。

3款民生費432万1,000円。

6款農林業費966万円。

7款商工費7,500万円。

9款教育費212万3,000円。

12款予備費1,144万4,000円の減。

歳出合計、7,966万円。

以上で、議案第3号令和4年度上富良野町一般会計補正予算（第1号）の説明といたします。

御審議いただきまして、議決くださいますようお願い申し上げます。

**○議長（村上和子君）** これより議案第3号について、質疑に入ります。

8番荒生博一君。

**○8番（荒生博一君）** 13頁の7款、商業振興費の中の上富良野グルメクーポン事業負担に関してお伺いさせていただきます。

今回予算が含まれたその2,250万円の内訳の中で、先ほどの御説明の中では、第1回目を7月から9月の設定。2回目を12月から2月ということで、2段階に分けて、実施するというお話をいただきました。

例えば、単純に50%、50%という配分を考えているのか、例えば夏季を7、冬季を3とかってというような配分の比率っていうのはどのようにお考えか。

そして今回、販売は5,000セットということですが、その世帯当たりの購入に関しての縛りとか、そういった取り決めというのはどのようになされているのか確認いたします。

**○議長（村上和子君）** 企画商工観光課長、答弁。

**○企画商工観光課長（狩野寿志君）** 8番荒生議員の御質問にお答えします。

まず、1点目の配分の方ですが、今現在考えているのは50%、50%の2,500セットずつにしていこうかなというの、商工会の方とも、この制度についても要綱も今作ってますから、検討しているところでございます。

1回目にそこでドンと使っちゃうと、後半の年末時期

になくなってしまうものというのの一つでして、今現在進めているところでございます。

その1世帯あたりのセット数ですけども、これにつきましても、1世帯4セットになるかというの、現在協議を進めてるところでございます、1人4セットになると家族で10何枚とかそういう持つての人が全部使ってしまうのでそれもどうなのかなというのの一つ考えたところでございます。

このクーポン、ちょっと商品券とは違ってやっぱり使ってもらふことに、買ってもらふことに意義があるのかなということもありまして、それが現在商工会とも協議を進めているところでございまして説明書の方には1人5セットまでというふうに、現在のところそういうふうに考えてまして、今後につきましては商工会と協議をして進めていきたいなというふうに考えていますので御理解賜りたいと思います。

**○議長（村上和子君）** ほかにございますか。

2番北條隆男君。

**○2番（北條隆男君）** 西小学校のボイラーのこの部品のスターデルタ版ですかこれ、これ新しいのいつごろできてるんですか。

**○議長（村上和子君）** 教育振興課長、答弁。

**○教育振興課長（谷口裕二君）** 2番北條議員の御質問にお答えさせていただきます。

今現在、西小学校のボイラーの部品の一部遅延の部分でございますが、年度内ということで2月年明けの2月ぐらいまでに部品の調達を見込んで取り替え工事の方、進めることで今予定をしてるところでございます。

**○議長（村上和子君）** ほかにございませんか。

4番中瀬実君。

**○4番（中瀬実君）** こちら補足資料説明では、6ページの関係ですけども、先ほどちょっと聞き漏れたのですが、いわゆるこれはてん菜から他の作物に転換することによって補助金を受けられるという事業だということを理解はしましたけれども、こちらにつきましては、5年間増加をしないことが条件だということ。それがいわゆる他の作物に転換したときに、10アール当たり3万円ということをお聞きしましたが、これは5年間、この3万円、2万5,000円が当たるということが条件なのかまず一点目。

そういうこととそれからもう一点は、いわゆるJA富良野が主体となって、基本的に14経営体がこれに取り組むということでその中で、上富良野町が8経営体ということ。ということは、残りはもう6経営体ですから他の町村から見たら上富良野がダントツにこれに取り組んでいる。これは当然私達の地区は、いわゆる面積が多い

し、てん菜にある程度費やしてる面積が多いからそういうふうになったんだと思います。

ところが、この国の政策で騙されちゃいけないのは、基本的に、我々も何回も騙されてますからあれですけど、ちょっとした猫だましみたいなこういうことでやってね、我々の輪作体系が崩れるような状態を農協がなぜそれに取り組むようにするのかっていうことがうちは問題になってくると。そこで上富良野町としても、農業振興課としても、例えば富良野農協の各町村のところについて、今回こういう取り組みがあるけど、我々の畑作地帯とかいろんなどこ行ったら、今後のことを考えたときには慎重に対応すべきでないか。そういうことを、農業振興課としては、そういうことを言うべきではないのか。今後、何年か経ったときにあのときこういうこと取り組まなければこういうふうにならんかったよねっていうことを後悔しないためにも次善の策として、そういうことをやっておくべきだと私は思ってます。

ですから、そこら辺のところの調整とか、農協からのそういう調整は当然なかったんだと思いますけれども、その辺のところを教えてください。

**○議長（村上和子君）** 農業振興課長、答弁。

**○農業振興課長（大谷隆樹君）** 4番中瀬議員の御質問にお答えさせていただきます。

まず一点目の、この交付金補助金につきましては、5年間でてん菜面積が増加しないことという条件縛りがついてますが、交付金を受けれるのは今回限りで、1年限りとなっております。ですから、今後次年度以降の4年間についてはこの交付金は出ないということで御理解いただきたいと思えます。

次に2点目の、このてん菜から他の需要が高まっている作物への誘導ということで議員、国の小手先の補助金だということかもしれませんが、国としては年々砂糖の消費量等が減少し続けて、本年十勝地区においても製糖工場等が閉鎖に向かっているという状況もあります。国全体で砂糖消費の喚起等もなかなか進まないところでありますし、観光需要が減ったことによるお土産店での砂糖の使用の量についても減っていると、いわゆるあんことか甘いものに、お土産が売れないものですからそちらの需要が減ってるということもありまして、なかなか砂糖の消費量が減り続けていると、この状況を打破するため国の令和3年度の補正予算で、今回需要が高まっている作物への転換に対して単年度限りですが、支援を行うという事業があったところ、富良野農協の方で取りまとめたところ、先ほど議員言われたとおり、14経営体の方が今回これに取り組むということでございました。

当然議員言われるとおり、JA富良野としても今後の

畑作地帯におけるてん菜については、輪作体系の基幹作物ですから、当然その輪作体系の維持、それからこの需要が高まっている作物への誘導、この辺については農協全体としても、考えていくように農業振興課としても、今後協議を進めてまいりたいと考えているところでございます。

以上です。

**○議長（村上和子君）** よろしいですか。

ほかにございませんか。

11番小林啓太君。

**○11番（小林啓太君）** まず、上富良野グルメクーポン事業に関して伺います。

販売対象に関しては、町民および町内勤務者というふうに説明で伺いましたが、直近だと中富良野の方でも同じような施策をしてるのかなというのを確認しており、そちらは町民以外にも購入できるような形で運用されると思うのですが、この町民に限定する理由というのが何かあれば、それ、仮に何か中富良野と比較したりして、あえてそうしてるような理由があるのであればその点を教えていただきたいなと思えます。

2点目が、中小企業等新展開支援事業に関してなのですが、昨年一度その再構築補助金を受けられた事業者に関しても再度、申請ができるものなのかどうかをお伺いしたいと思ひまして、たまたもし今わかればいいんですけども、昨年再構築の補助金を申請された業者の中に農業法人や農業を営んでいる個人等があったのか、というのがわかれば教えていただきたいというふうに思ひます。

最後に宿泊誘客促進事業に関して、助成内容等に関して、原則としてGOTOトラベルキャンペーンとの併用という形で、説明を受けましたが、もしGOTOトラベルキャンペーン等が実施されない場合はこの事業もずっと延期になるのかという点を伺いたいと思ひます。

**○議長（村上和子君）** 企画商工観光課長、答弁。

**○企画商工観光課長（狩野寿志君）** 11番小林議員からの御質問にお答えいたします。

まず1点目のなぜ町内に限定したのかというところでございますが、補足説明資料の方でも載せてございます。一つでは、一方では町内飲食店の経営の継続支援というのも一つの目的としますが、もう一点としましては、町民の満足度、どうしても上富良野町の交付金を使うものですから、町内の住民に対しての満足度、貢献度というのを考えまして、町内の方に限ってということで、もしくは町内で働いてる方、そういう方に限っての支援ということで今回事業の制度設計を行ったところでございます。

2点目の、中小企業等新展開支援事業についてでござ

います。

まず一点ですが、昨年度プラン再構築支援を受けた方が受けられるのかということでございますが、同じような内容であれば説明したとおり、その事業の増収というところでは、一応対象外になるのかなというところで現在考えてます。その方が新たな事業展開をするという、新たな事業を行うということに対しましてはこれ補助対象にしようかなというふうに考えております。あくまでもやっぱり昨年度は落ちたところに対して、コロナで沈んでる業者が15%以上3ヶ月連続で収益が落ちてるといふところのための埋めていこうということで事業を展開しましたが、これからやっぱウィズコロナ、アフターコロナに向かってどんどん伸びてくる業者を更に伸ばしていったらいいかなというふうに考えまして、今回この事業を制度設計ということを考えておいたところでございます。

その中でありました農業法人の方であるのかということでございますが、主たる事業が農業という農業の方もいらっしゃると思います。その方は農業に関してじゃなくて、6次産業ですとか販売だとかそういうのでやった方が何件か名前は見てるだけであれですけども、農業法人の方もいらっしゃると思います。農業の方で、その事業の再構築をしたのではなくて、6次化の販売ですとか、あと、新商品開発のための事務所の改装をするために行ったとかそういう内容でございます。

あと続きまして宿泊等でGOTOトラベルがなくなったらやらないのかということでございます。今現在のところ国の方では、GOTOを再開するよというふうになっておりますので、町としましてはGOTOが再開されるものと思って事業進めております。

なくても事業の方については、やはり先ほどの全員協議会の方でも説明させていただきましたが、やはりうちの町の観光というのはやはりラベンダーですとか夏場のシーズンというのがトップシーズンでありまして、やはりそれが終わった後の閑散期についての集客の見込みというのが、かねてからの課題であったということから、やはりこういうやっぱりGOTOキャンペーンに相乗りして相乗効果を持って町のクーポン券があるよという相乗効果が生まれると思うんですね。道民割もそのような感じで5月いっぱいまでやってますけども、そのような形で町としましてもそれに乗っていただいてやっていこうというところで考えましてGOTOキャンペーンと相乗りでという形で考えさせていただきます。なくなっても予算これつきますんでね。何でもかんでも形でPRが一番大事かなというふうに考えております。旅行情報雑誌等々、あとWeb、新聞広告等にありましてそういうのも

使えるよというのは、やってかなくてはと、またちょっと制度変わってきますんで、中身はまた考えていかなきゃならないかなというふうに考えておりますが、一応GOTOがなくてもその事業の実施については考えていきなというふうに思っています。

**○議長（村上和子君）** 11番小林啓太君。

**○11番（小林啓太君）** 今お答えいただいた中で、中小企業等新展開支援事業に関してのところ、前回の再構築補助金のときの実績でも、農業関係で、メインで働いてる方が6次化等で、何か事業を起こす際にも活用されたというお話を伺って、これはすごく非常に大事なことかなと個人的には考えています。というのも先ほど別のまた話でスマート農業をこれから推し進めていく。というお話があったかと思うのですが、実際そのスマート農業でどんどん省力化が図られていく中で、反面その現在、要は人間のその力でなんとか農作業をできるところを今後機械化していくという意味では、もしかしたら後は逆言うと人手が要らなくなってくるような未来はあるのかなと思ったときに、今農作業員として働かれています方のそのリソースをまた別の形で使うという意味では、農業の方がまさにこういう6次化等をしていくことというのが、スマート農業を推し進めつつ、更にその農業形態であったり、町としてのさらなる何というか新しいステージに上り詰めていくためには大事なのかなと今考えています。すみません、話長くなりました。こういう点に関して、ぜひ町長にお伺いしたいと思うのですが、この事業を今後例えば業者の方とかも積極的に御利用いただけるのであれば、さらに6次化を進めていくこともできるとも考えますし、ただ一方でこれまでも、6次化というのはそこまで本町において、ものすごい周りと比較しても進んできたわけではないのかなということを想像すると、ぜひこういう制度を農業者の方にも積極的に活用いただけたらいいと思うのですが、その点は、何かその町の方としてあえてこの事業を使って盛り上げるようなことはお考えないのかなということをお伺いしたいと思います。

**○議長（村上和子君）** 企画商工観光課長、答弁。

**○企画商工観光課長（狩野寿志君）** 11番の小林委員からの御質問ありました、この事業のあり方でございますが、まずこの事業の方ですが、コロナウイルス関連緊急対策経済事業という形で進めさせてもらっております。昨年度は再構築ということで進んだ方を、先ほど御説明させていただきましたが、伸ばしていく事業で今回は、アフターコロナ、ウィズコロナを見据えて、更に事業展開していくことに対しまして補助事業を行っていこうというふうに考えてございます。

特に農業関連におきましても、6次化とかもやっ

方も結構いらっしやいますし、昨年も含めて2件ほどもあります。その他の昨年は新規事業の方でまた違う補助もですけど、それで事業展開された農業者の方もいらっしやるかなというふうに思っております。

今年についてはとりあえず新型コロナ関連事業ということでやらせていただきましたので、そのところを御理解いただければなというふうに考えております。

以上です。

**○議長（村上和子君）** ほかに質問ございませんか。

7番米沢義英君。

**○7番（米沢義英君）** まずスマート農業で11ページでお伺いいたします。

近年、省力化あるいは作物体系も作り方が変わるといいう形の中で、こういった事業が展開されてきております。これで自動操舵装置というのはちょっとあの素人でわかりませんので、この機械の大きさ、馬力と言うんですかねそれによって変わることなく、これというのは、だいたい一定金額があるのかどうなのかお伺いいたします。

今後こういった事業を進めていく上で非常に富良野圏域での協力体制というのが非常に重要になってくるのかなというふうに思います。確かに経営体でそういったものを見つけて学んでこういった農業に生かすというのも大事であります、同時に諸々のいろんな経費等が重なった場合とか、やっぱりそういった景気での、一定体制作りというのが必要かというふうに、ちょっと素人なのでわかりません。思うのですが、今こういった体制作りというのはどのようになっているのか、お伺いしておきたいと思えます。

次にお伺いしたいのは、13ページの商工観光のグルメクーポンでお伺いいたします。

これ非常にこういった事業というのは消費を喚起するという点でよろしいのかなというふうに思います。

あわせてお伺いしたいのは、例えばこういった商品券をなかなか買えないという方も、ひよっとしたらいるのかなというふうに心配しすぎなのかもしれませんがおります。この間上富良野町では、おうちでグルメで1世帯5枚までとか子育て世帯については6枚までとか、多様なグルメ、デリバリーでそういった事業に対して300円とかクーポンを発行して非常に喜ばれました。こういう事業と合わせて、そういった事業というのも、今回検討されたのかどうなのか等々をお伺いしておきたいというふうに思っております。

次にこの中小企業の部分であります、これも新規事業を展開する部分に対する策ということで、従来の延長線では駄目ですよという形かというふうに思います。この部分で言えば、こういう事業はできないけれども、いわ

ゆる外装内装を変えたいというようなそういう事業者の方もひよっとしたらいるのかもしれませんが。そうしますと、やっぱりそういったところも含めた、こういった意欲のある事業展開とあわせて、そういった部分をやはり後押しできるように対策をとる必要もあるのではないかと、いうふうに考えておりますので、そういったところの予算については、どうなのかなというふうに思っております。それとこの部分で全体的にお伺いしたいんですが、この間も、あの議論の中で出てきました町の融資、こういったコロナ禍によって、1年据え置きで返済するだとかっていう状況が出てきております。非常に経営困難な状況も見受けられて、商品に物の値段が上がって、転嫁できないというような状況もあります。現状、商工会のそういった経営の現状というのはどのようになっているのかまず伺います。

二つ目にお伺いしたいのは、当然やっぱりそうなる支給型の支援というのも当然必要になってくるのではないかと、いうふうに思いますが、今回こういった予算には、あの支給型の支援というのは、あがっておりませんが、こういった事業所、あるいは今、全般的に物価高騰で暮らしが大変だという声が聞こえます。今後こういう部分に対する町民や一般の町民の方に対しても、対象とした支給型の支援というのも、事業所もそうなんですが、必要ではないかというふうに思いますが、この部分の今後の対応等についてあわせて、どのようにお考えなのか、お伺いしておきたいというふうに思えます。

**○議長（村上和子君）** 農業振興課長、答弁。

**○農業振興課長（大谷隆樹君）** 7番米沢議員のまずスマート農業の導入支援に関する御質問にお答えいたします。

まず一つ目の機械の構成という種類でございますが、このトラクター用の自動操舵装置というのは、トラクターのハンドルにつける部品、それからモニター画面、それからトラクターに付けるRTK基地局からの電波受信用のアンテナというような、大まかに言うとそのような部品構成になっております。これが今現在トラクター専用の自動操舵装置の部品ということになります。

次に二つ目のスマート農業の体制作りについての御質問ですが、富良野沿線全体でのこのスマート農業の支援、拡大を進める普及推進組織というのは今の時点ではできておりません。ただ、各市町村等において、それぞれ当町で言えば東中地区におけるドローンの導入に携わっている組織等もございます。今後におきましては、この富良野沿線全体でかなりの数がスマート農業が普及してきているという状況から、今後は富良野沿線全体で今後協議体を作って、さらに普及を進めるあるいは岩見沢等でも、国の実証事業により事業進められており、その中でこの導

入にかかる経費のあり方についても、すでに実証検証の成果表が出ていることから、先進的などこに、研修に行つて、勉強を重ねていきたいというふうに考えているところとす。

以上です。

**○議長（村上和子君）** 企画商工観光課長、答弁。

**○企画商工観光課長（狩野寿志君）** 7番米沢議員からありましたグルメクーポンついてでございますが、昨年度グルメクーポン事業ということでチラシ300円ででしたが、つけてお配りしたのもあったんですが、今回につきましては、1枚500円のクーポンの40%プレミアムとして販売するというので決まりましたというふうな形で進めております。生活に困った人とか別な事業で、そういう支援があるのかなと考えておりますのでどうぞ御理解いただければというふうに思います。

続きまして中小企業等の支援策についてでございます。内装外装等についての構築については、何も変わらずにその内装外装だとかやるのは、ちょっと趣旨と反しておりますので、その事業についてはできないのかなと思っております。ただ、お店を普通の小売業のお店がレストランをやりますというときはレストランに改装したり内装を変えたり外装しますから、その時には補助対象となりえますので、そのような形でこの補助を使って、ぜひ商業の御商売の方を進めていただければというふうに思っております。

あと、商工会の現状等については、現在のところやはり聞いてますのは飲食業の方が確かに非常に厳しいというのは聞いております。当然、小売りも購買力が落ちてるといふのも当然という状況でございますので、その中で協議した中で今回グルメクーポン事業というのを昨年やって大変好評でした。テイクアウトとかもありましたので大変好評であったと。今まん延防止対策がなくなってますので、どんどんお店の方に、出ていただきたい。例えば5,000円のクーポンで2,000円のプレミアムがあればそれで飲み放題ができたりとか、一つの食べ放題ができるとか、そういう何かきっかけ作りになればということで、特に今回については、飲食、それから夜の方のお酒を提供するお店、こちらの方にそのクーポンや商品券を出すことで、さらにお客さんの足がそっちの方に行つていただければというところで、考えまして今回この事業をつくっております。

以上です。

**○議長（村上和子君）** 副町長、答弁。

**○副町長（佐藤雅喜君）** 7番米沢議員の御質問、補足の形で、ちょっと3月まで担当したものですから御説明をさせていただきますと思います。

ちょうど議員御心配してるように2年ぐらい前から、資金の町の方で保証と利息と足してるやつが、だいたいまんどになってくるような時期を迎えられていらっしゃる事業者の方もいらっしゃるしまして、そういったところからも金融機関からもそういった資金等の延長を求められておりまして、これについても今年度延長して対応していきたいというふうに考えております。

確かに1回落ち込んでおりますけれども、全体の傾向としては、若干戻りつつある業種業態の方もいらっしゃるという聞いております。ただやっぱりどうしても今回補正であげましたけれども、特にお酒って今回特に限ってありましたけど、ご飯は食べに行くようになったんだけどその後、お酒だけのお店とかっていうのはなかなか回復が遅いとかっていうのはもう聞いておりまして、そういったことで今回特にグルメ、飲食に集中したクーポンを展開していこうということを商工会の方からお話いただきまして、そういったような状況でございます。

それからある程度、給付型のものについてという御意見もありましたけれども、次の展開についてはどっちかという今までこれまでであったものが物価高なんかの経済対策に移行してきているということも含めながら、そういった部分、また令和4年度の部分についてはまたいろいろある程度経済団体の方々や御相談しながら、これから決めていかなければならないことかなというふうに考えてございますので、そういった部分についてはただいまの議員からいただきましたその給付型でプッシュするのはどうだとそういったことも含めて、業界団体の方々や話をしながら、次の補正の部分について、検討した上でまたこの場で、上程させていただくというようなことなるかと思っておりますので御理解を賜りたいと思っております。

**○議長（村上和子君）** ほかに質疑ございませんか。

5番金子益三君。

**○5番（金子益三君）** すみません、2点ほどお伺いいたします。

はじめに農林業の農業振興費のところちょっと教えていただきたいんですけども、先ほど同僚議員からもこの持続的畑作なんかかっていうものを緊急対策事業等がありますよね。

これに関しまして上富良野町が14経営体のうち約8経営体というところで大部分を占めているということで全体面積が31.7ヘクタールということでしたが、具体的にその上富良野町の8経営としてこの31.7ヘクタールのうち何ヘクタールは上富良野が占めるかっていうことをお聞きしたいこととあわせて、先ほど同僚議員もそのいろいろ心配してございましたいろいろ毎年作るもの、

輪作をしながら、経営を考えていって、輪作障害であったりとかそういったものを防ぎながら、計画的にやられてるものがあるんじゃないかとそれに合わせて私もその農業そんなに詳しくないんですけども、作況の状況を聞きに行ったときなどを聞きますと、転作というのは非常に翌年の緑肥にも繋がるということで、いろいろ利点というものが多々、ただ単に砂糖の原料になるだけではなく翌年のその地力度増力というか、アップにもつながるといって、そういう計画もされてるということをお聞きしております。

伺いたいのが先ほど同僚議員も聞いておりました。これ単年度だけで、他の馬鈴薯であったりとか、豆類に変えるものについての補助ということでございましたが、本当はやっぱり農業されてる方っていうのは長年に渡ってのサイクルを考えて経営されているというふうにお伺いしておるので、そういったところというのはもし町が独自に、追加をしてでも、そういう計画が狂わないようにしていくのが本当の農業の守っていくことだと思うんですけども、そういうことというのは、今後、町においてこれは道の10分の10の事業ですからこれに載せるということではできないと思うんですけども、本来であれば町として、そういうしっかりと経営を支えるということが必要だと思いますがこの点はどういうふうにお考えしているのかということが一点。

それと、二点目が商工観光費の部分の商業振興費の、今同僚議員も言っております上富良野グルメクーポン事業についてお伺いいたします。

この間確かに町といたしましても、地方創生交付金の中において、様々な給付型またはプレミアム商品券事業など、この緊急事態宣言やまん防が出されている中においても、町民の消費喚起を促していただいたりとか、あと休業している店舗に対しての補助、国や道としても、一時支援金や月次支援金、また、事業復活支援金などといったものを活用しながらやっている状況であります。

今回この事業を全く否定するものではなくて、大変素晴らしいなと思っているんですが、一方で飲食店、お酒類を扱うところばかりじゃなくて、私こういった事業が起きる度、再三、商工業者の皆さんの引き取りをして思うんですけども、あの物販であったりとか、サービス業であったりとか、そういったところも非常に同じように苦勞されてるんですよね。

これ、令和3年からの本省繰越事業ということで事業化されておるので、私このグルメクーポン事業をやめろということではなくて、ちょっと提案したいところがあるんですけども、14セットありますよね。プレミアム分が、いわゆる2,000円分ということで載ってるんです

けども、このプレミアム分っていうのは本来、消費者の方が自由に使える、そういった裁量があるような幅だしがあると、例えば5,000円分は、食べ物に飲み屋さんに行行って使う。そして、残りのプレミアム分に関しては、例えばちょっとおしゃれをしたいから髪の毛切る分にも使ってもいいのかなとか、化粧品買うのもいいのかなとかということであれば、本来の上富良野町全体の、経済活性化するんじゃないかというふうに考えるんですけど、そういった提案っていうのはなかったのか、お伺いいたします。

**○議長（村上和子君）** 農業振興課長、答弁。

**○農業振興課長（大谷隆樹君）** 5番金子議員の御質問にお答えいたします。

まず、今回の持続的畑作生産体系確立緊急対策事業において、今回、全体で31.7ヘクタール、14経営体のうち、上富良野町分は8経営体で約21ヘクタールを占めております。これはどうしても畑作の山の部分の面積が耕作地が多いということから上富良野町がそのうち21ヘクタールを占めているということになります。

それから金子議員からの御質問でありました、単年度だけでなく、今後の輪作体系を守っていくためにも、継続的な補助事業を考えるということも、私としてもそれは必要なところは思うところがございますが、国においても今後、令和4年度予算、さらに令和5年度予算に向けて、国等々にも継続的な支援の要請を今後行ってまいりたいというふうにご考えてますし、道内全域でてん菜を作付されている面積はかなりあるところから、北海道全体の課題ということになっております。この点も踏まえて、全道で国に対して今後その辺の補助事業のメニューの創設等については要求していきたいというふうにご考えているところです。

以上でございます。

**○議長（村上和子君）** 企画商工観光課長、答弁。

**○企画商工観光課長（狩野寿志君）** たいだいま5番金子議員からありました、グルメクーポンのその券がどこにでも使えないのかとかいうようなことだったと思います。

今回のグルメクーポン事業につきましては、特にこれまで飲食、特に夜のお店、先ほどちょっと申しました食べ物のお店とかお酒を提供するお店というのが、蔓延防止対策、その他の事業等でなかなかお店を開けられなかった、給付金なんか出ましたがこれから明けたときに、なかなかそのお客さんの足が伸びていかないというところがこれも課題だということで商工会の方も協議をさせていただきました。

また、今年入りました商品券についても6月まで進んでますので、それはそれでいろんなところで使って

るところはあるだろうと。今回は特にその飲食、特にお酒とか夜のお店だとかそういうところに特化した形で、クーポンをやったらどうかなどということで、商工会とも打ち合わせをしながら、今回こういう事業を提案させていただいたところでございますので、御理解賜りますようお願いいたします。

**○議長（村上和子君）** よろしいでしょうか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

なければ質疑を終了いたします。

これから討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

ないようですのでこれをもって討論を終了いたします。

これから議案第3号を採決いたします。

本件は、原案のとおり決定することに賛成の方は、御起立願います。

（賛成者起立）

**○議長（村上和子君）** 起立多数であります。

よって、議案第3号令和4年度上富良野町一般会計補正予算（第1号）は、原案のとおり可決されました。

---

## ◎日程第6 議案第4号

**○議長（村上和子君）** 日程第6 議案第4号財産の取得について（上富良野町スクールバス購入）を議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

教育振興課長。

**○教育振興課長（谷口裕二君）** ただいま上程いただきました議案第4号財産の取得について提案の要旨を御説明申し上げます。

今回、財産取得としまして、防衛省の特定防衛施設周辺整備調整交付金の補助を受け、スクールバスを取得するものであります。

目的といたしましては、スクールバス路線の江花線において、児童生徒の登下校の送迎を行うマイクロバスであり、現有車両は平成21年製の13年が経過し、48万キロメートルの走行距離となっていることから更新するものであります。

購入車両の概要につきましては、現有車両と同じく、定員29人乗りのマイクロバスで、冬季間の安全走行に資するよう四輪駆動となっております。

上程いただきました本件財産の取得につきましては、去る5月19日に指名競争入札を行った結果、三菱ふそうトラック・バス株式会社北海道ふそう旭川支店が落札

し、本議案の1,056万円の契約金額となったところであります。

それでは、以下、議案を朗読し、提案の理由にかえさせていただきます。

議案第4号財産の取得について。

スクールバスを次により取得するため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を求める。

記。

1、取得の目的、スクールバス。

2、取得の方法、指名競争入札による。

3、取得金額、1,056万円。

4、取得の相手方、旭川市永山3条14丁目1番2号。三菱ふそうトラック・バス株式会社、北海道ふそう旭川支店、支店長鈴木英雄。

5、納期、令和4年11月30日。

以上で、議案第4号財産の取得についての説明といたします。

御審議いただきまして、議決賜りますようお願い申し上げます。

**○議長（村上和子君）** これより議案第4号について質疑に入ります。

（「なし」と呼ぶ者あり）

なければ質疑を終了いたします。

これより討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

ないようですのでこれをもって討論を終了いたします。

これから議案第4号を採決いたします。

本件は、原案のとおり決定することに賛成の方は、御起立願います。

（賛成者起立）

**○議長（村上和子君）** 起立多数であります。

よって、議案第4号財産の取得について上富良野町スクールバス購入は、原案のとおり可決されました。

---

## ◎教育長挨拶

**○議長（村上和子君）** この度4月1日の就任後、初めての本会議であります鈴木教育長に、先例により一言、御挨拶をいただきたいと思っておりますので、発言を許します。

教育長、鈴木真弓君。

**○教育長（鈴木真弓君）** 本日の臨時会お疲れ様です。

今年度の本会議に御挨拶の許可をいただきました村上議長様に感謝申し上げます。

教育長に就任し、2ヶ月が経ちましたが、これまで役場

の職員としての経験はありますが、いま一度初心に帰り、上富良野町の教育行政につきまして、誠心誠意取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

今年の春の人事異動では、教育委員会は私をはじめ、課長職、主幹職等の異動があり、町民皆様から上富良野町の教育行政は大丈夫かとの不安の声もあろうかと思いますが、教育職員全員で上富良野町教育大綱及び教育振興基本計画、上富良野町教育行政執行方針について習熟し、取り組みを進めてまいります。

今なお、新型コロナ感染につきましても、収束を見通すことは困難ではありますが、教育委員会におきましては、学校、文化活動、スポーツ活動におきまして、感染症予防対策の徹底と、様々な工夫により、教育活動を止めることなく、取り組みを進めております。

社会教育総合センター、公民館等におきましては、多くの町民の皆様が来訪され、町内4ヶ所においてはラジオ体操も再開されるなど、町民皆様の教育、文化、スポーツ、健康作りの効用が高まっているものと感じられております。

また、昨日22日には、スポーツ実行委員会主催による住民会対抗パークゴルフ大会も開催され、13住民会83名の方が、50代から最高齢91歳の方が参加されるなど、多くの方からウィズコロナの対応に対して喜びのお声をいただいております。

また、今週は町内の小中校においても、体育祭や運動会が開催され、体力づくりやクラス学年による集団活動による連帯感を学ぶと伺っております。従来のように、多くの町民の皆様とともに応援することは叶いませんが、1日も早く安心安全な生活が戻ってきますよう、私も待ち望んでおります。

議会議員皆様におかれましても、上富良野町の子どもから高齢者、全ての住民の皆様の教育活動の推進に対しまして、引き続き御理解と御支援、御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本日は、挨拶の機会を賜り、ありがとうございました。

---

### ◎閉会宣告

**○議長(村上和子君)** 以上をもって、本臨時会に付議された案件の審議は全部終了いたしました。

これにて、令和4年第3回上富良野町議会臨時会を閉会といたします。

午前11時11分 閉会

上記会議の経過は、議会事務局の調製したものであるが、その内容の正確なる事を証するため、ここに署名する。

令和4年5月23日

上富良野町議会議長 村上和子

署名議員 高松克年

署名議員 中瀬実